



事前指定書

老人保健施設の取り組み

老人保健施設 昂看護師 森 裕美



凌雲会グループ



**メディシオン凌雲・凌雲名東
地域リハビリテーション稲次**



**グループホーム親の家
小規模多機能ホーム親の家**



特別養護老人ホーム藍寿苑



生活支援ハウス藍



稲次整形外科病院



ケアハウスサンカーテン凌雲



就労支援センター ハーモニー・福祉ホームリズム



老人保健施設昂



小規模多機能ホーム第二藍

事前指定書とは

- ▶ 「レット・ミーディサイド＝自分で決める自分の医療」の治療の事前指定書とは、重症の病気や怪我のために、意識が無くなったとき、つまり自分で治療に関する意思決定が出来なくなったときに備えて、意思決定出来るうちに自分が希望する治療方法などを、文書で指定しておく方法です。この方法は、カナダの老人医学者ウィリアム・モーロイ博士が考案したものです。

通常の場合

医師による治療の説明が行われ、あなたの希望を考慮したうえで治療が行われる。


インフォームドコンセント



意識不明の場合

あなたが意識不明の状態では、希望を伝えることが出来ない。そうした時に、事前に作成された事前指定書の内容が治療する医師に伝えられる。





凌雲会で作成した事前指定書

- ▶ 済生会熊本病院様の資料を参考とさせて頂いております。

「事前指定書」



稲次整形外科病院グループでは、皆さんが希望する医療・介護サービスを受けられるよう事前指定書を活用しています。全スタッフが統一した情報を共有することで、受けてよかったと思える医療・介護サービスが実現できると考えます。

稲次整形外科病院グループ基本理念

- ・わたしたちは、利用者が受けてよかったと思える
医療・介護・福祉サービスの提供を目指します。
- ・わたしたちは、地域社会での生活を積極的に支援できる
組織づくりを目指します。

事前指定書とは

あなたが、もし何らかの事情で自分の意思を伝えることが出来なくなったとしたら、どういう治療を望むか、望まないか、あなたの希望はだれにもわかりません。事前指定書は、意思表示が出来なくなったときに備えて、あなたの希望を記入しておくものです。代理人やかかりつけ医師と相談して、どんな治療をしてほしいか、どんな治療はしてほしくないか、あなたの希望を記入してください。これは、現時点での希望であって、いつでも書き換えることはできます。もしも意思表示が出来なくなった場合は、事前指定書に示されたあなたの意思を尊重して、代理人とかかりつけ医師が今後の治療について相談します。

事前指定書の利点とは

事前指定書を書くことで、あなたが望む医療を選択することができます。まず、事前指定書を書く際に、代理人やかかりつけ医師と希望する医療についてしっかりと話し合う機会が得られます。また、緊急時の医療行為にはどのようなものがあるか理解できて、その中からあなたにとって代理人にとっても最善の医療を選んで指示しておくことができます。

あなたの意思を伝えるチャート

私は、私が希望する医療・介護サービスが受けられるように次のように意思決定をします。もし、回復の見込みが望めない状態(自分で物事を決定できなくなり、意思の疎通[コミュニケーション]が出来なくなった)の場合に利用してください。

意思表示ができなくなった状態とは以下のようなことです。

- ・ 認知症により、意思疎通が出来なくなった
- ・ 病気が進行して、意識状態が悪くなり、意思疎通が出来なくなった
- ・ 脳血管疾患により、意識不明、または昏睡状態になった
- ・ 交通事故などにより、意識不明。または昏睡状態になった

私の選択

①今後、回復が不可能な病気や状態になった場合、**私が望む医療、望まない(してほしくない)医療行為**について

◎心肺停止など急変したとき

心臓マッサージ	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない
電気ショック	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない
心肺補助装置	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない
点滴(強心剤等、心臓を強める薬の使用)	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない

◎呼吸が悪くなったとき

酸素投与(マスクのみ)	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない
気管切開	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない
気管内挿管・人工呼吸器	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない

◎食事が取れないときの栄養補給について

栄養点滴	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない
鼻から胃にチューブを通して栄養剤を入れる	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない
腹部に穴を開けて直接胃または腸に栄養剤を入れる	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない

◎尿が出ないとき

利尿剤の使用	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない
カテーテル留置	<input type="checkbox"/> してほしい	<input type="checkbox"/> してほしくない

②どんな治療をしてほしいのか、どんな治療はしてほしくないのか、自分で意思決定できなくなったときに相談すべき人は誰ですか？(配偶者、家族、かかりつけ医等)

〔お名前：

〕

〔続柄 : 〕

③自分で決める自分の医療

私が、回復不可能と考える状態は次の通りです。

その他（輸血、埋葬、臓器提供等）

④もしあなたが人生の終わりを迎えようとするときどこで迎えたいと思いますか？

自宅 〔かかりつけ医 : 〕

介護施設等 〔施設名 : 〕

病院（救急舎） 〔病院名 : 〕

以上、自分で判断できなくなったら、この「事前指定書」を尊重して、これに従ってほしいと思います。緊急の場合には、以下にあげた、代理人またはかかりつけ医に連絡してください。もし連絡がつかない場合は、この指定書通りにしてください。

日付：西暦 年 月 日

〔名前 : 〕
〔住所 : 〕
〔電話番号 : 〕

〔かかりつけ医 : 〕
〔医師名 : 〕
〔電話番号 : 〕

〔代理人 : 〕
〔続柄 : 〕
〔電話番号 : 〕

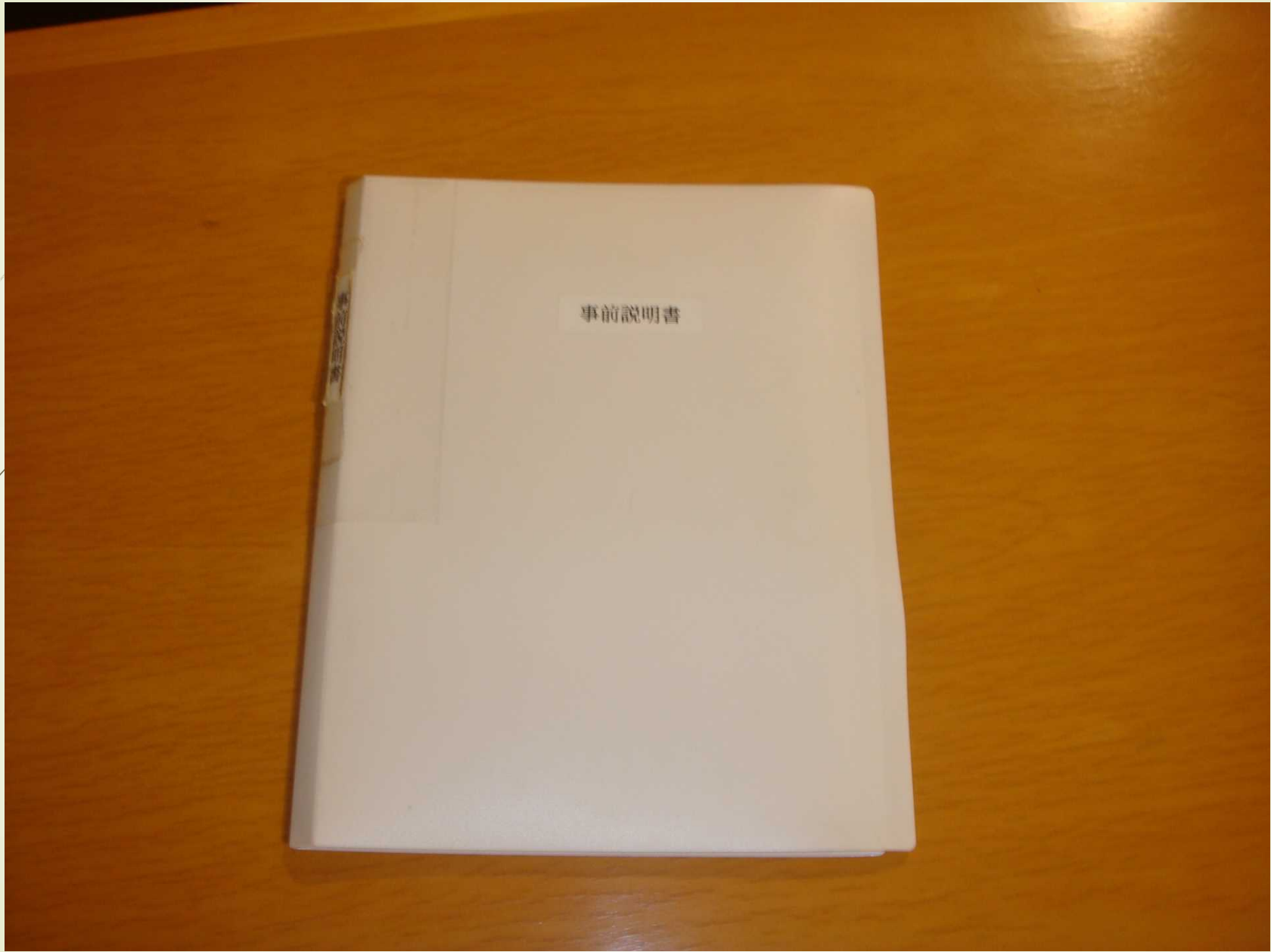
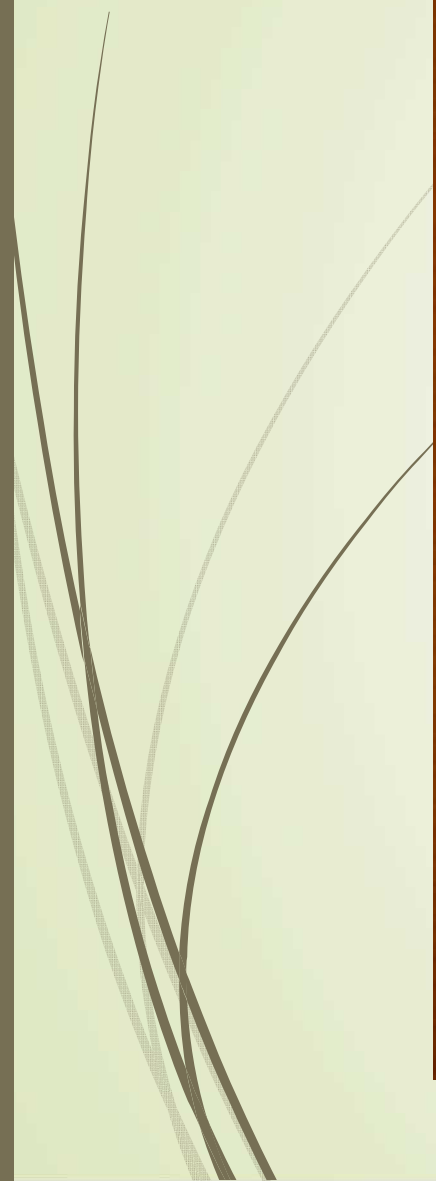
★事前指定書の内容はいつでも希望を変更することが出来ます。

★事前指定書は、かかりつけ医、代理人にそれぞれコピーを渡し、保管しておいてください。

☆事前指定書は、1年に1回、あるいは健康に変化があったときに見直すことをお勧めします。



注）済生会熊本病院様の資料を参考とさせていただきます。
MEDICAL CORPORATION RYOUNG GROUP

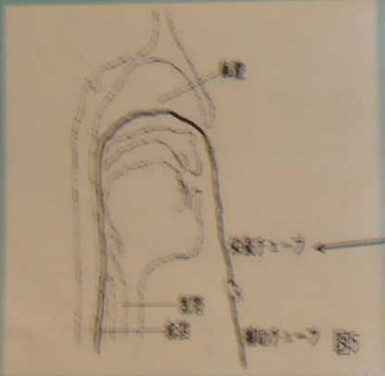


栄養(経管栄養)



老人保健施設 鼻

経鼻経管栄養



老人保健施設 鼻

胸骨圧迫心臓マッサージ



方法



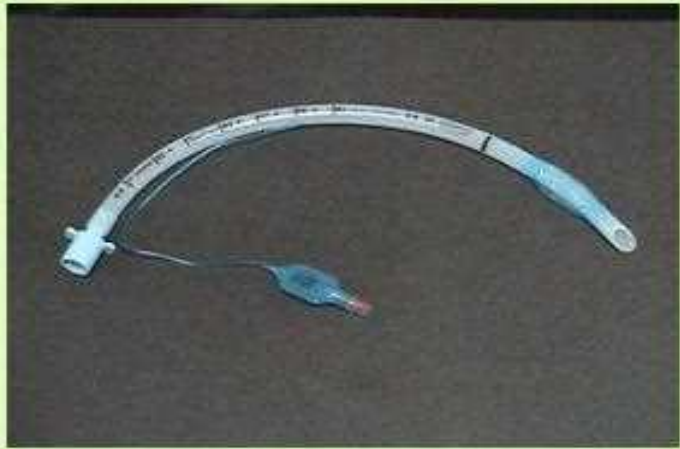
- 1分間に100回胸骨を押し
(30回押し→2回人工呼吸)
5回繰り返し



老人保健施設 昴




氣管內插管



老人保健施設 昂









今の取り組み

- 入所される方の家族に対し、全員、事前指定書の説明を行っている。
- 老健入所時は、自分での判断が出来る利用者は50%以下であり、90%以上が家族に決めてもらっている。
- 自分のことでも、「縁起でもない」と話も聞かない場合がある。
- 「家族の事なので、なかなか決めれない」と言われることもある。



- 
- 無理に書いてもらうことはしない。
 - 決めれるところだけでもいいことを伝える。
 - 何回でも書き換えが出来ることを伝える。
 - 本当の事前指定書の意味を解ってもらう。

「本当は、自分自身で決める事なので、家族であってものなかなか決めかねる事を解っている。」ということ伝える。



事前指定書の効力

急変時、状態変化時事前指定書を確認。



家族に連絡。



対応医師に伝える。

事例 1 急変


- ▶ 7:00 スタッフの声かけで起床介助
- ▶ 7:30 車椅子（自走）にてトイレに入るところ確認
- ▶ 7:45 なかなか出てこないため確認に行くと、意識なく壁にもたれかかって居る所を発見。直ちに事前指定書確認しCPRはしないとの事であるが、家人に連絡し再度確認。
- ▶ CPR希望。
- ▶ 家人来設するまで、約1時間、CPR施行
- ▶ 家人は、自分が来るまで心臓が動いていた（動かしていた）ことで納得された。

事例 2 認知症

- ▶ 以前より、認知症でショートステイを利用していた
- ▶ 歩行困難と脱水で入所。食事は、ほとんど食べず、ほぼ寝たきり状態
- ▶ 家人は、元医療職
- ▶ 事前指定書には、延命処置はしませんが、できれば点滴のみでお願いしたい。
- ▶ 痛いことや苦しいことはさせたくない。
- ▶ 娘さんは通ってこられて食事介助をして、話しかけられ、足をマッサージして帰宅する毎日。
- ▶ スタッフも、家人の意思を尊重し、昼の様子などを伝えた。
- ▶ 最期の時、家族に見守られ、手を握られながら、眠るように永眠された。
- ▶ 娘さんは、最期まで、自分と本人の意思を通し、悔いはないとのことであった。

事例3 長期療養

- ▶ 約20年前、脳出血にて片麻痺。
- ▶ 脳梗塞、誤嚥性肺炎繰り返し、良性甲状腺腫にて摂食障害
- ▶ 本人も、家人も、辛いことはしたくないと希望。事前指定書にも、昴で出来る事をお願いします。とのこと。
- ▶ 徐々に、体力の低下、発熱もあり、寝たきり状態。
- ▶ 医師から状態説明
- ▶ 家族に事前指定書再度確認し、以前と変わりなく、昴で出来る範囲の医療でと。
- ▶ 朝より危篤状態となり、夕方永眠されるまで、家族が交代で付き添って、家族に見守られ、息子さんに手を握られながら息を引き取った。
- ▶ お葬式で、「長年病気と闘い、辛かったと思うが、最期は安らかに逝くことが出来ました。」と挨拶をされた。




困っている事

- 日中であれば、併設のDrも「事前指定書」の事を理解してくれているため、対応はしてくれる。しかし、夜間、当直Drになると、急変=CPRと対応を行ってけている。
- 夜間、昴に当直看護師がいない時、併設の看護師が対応に来てくれるが、新人であれば、事前指定書の事の理解が出来ていないため、CPRを行う
- 家族は、「とりあえず点滴」というが、弊害もあることを理解してもらえない。
- あまり来ない家族、親戚の方たちの意見が、延命治療と言われる方もいるため、家族での意思統一が図れていない。

今後の希望として

- 事前指定書は、「自分が決める自分の医療である」ことを理解してもらう。
- 入院、入所時には、本人が決めた事前指定書を持ってこることが出来る環境整備。
- グループ内で、何をしているか知る。（等グループスタッフ）
- 医療行為を理解したうえで、決定する。
- 自分で判断できるときに事前指定書、エンディングノート、リビングウィル等記載し、代理人、かかりつけ医等相談する。
- この、事前指定書を書くことが当たり前になる世の中になればいいな・・・。



どのように書くのが望ましいか。

- 医療行為を、十分理解する事。
- 集中ケア・緩和ケアの違いを理解する事。
- 理解したうえで、自分の気持ちを書く。
- 意識不明・回復困難になった時、家族の事も考えることも必要。
- 自分が亡くなった後の事まで、考える必要がある。
- 代理人（家族）とよく話合うことが重要である。

まとめ



意識のあるうちに、
判断能力があるうちに、
事前指定書を書いておきましょう。
統一された書式があればいいですね。

お知らせ



- ▶ グリーフケアの一環として「**楽カフェ**」を開催します。
- ▶ 毎月第2・第4水曜日 10時~12時
- ▶ 場所：昴 1F相談室
- ▶ 内容：お菓子を食べ、お茶を飲みながら、故人の話をしましょう。涙を流す場所でもあります。事前指定書の書き方の説明も希望があれば行います。「私の生き方連絡帳」の書き方も話しましょう。心を楽にする場所であり、楽しい場所になりたいと考えております。





泣いたり、笑ったりの会となりました。



ご清聴
ありがとうございました